

豊橋信用金庫の環境への取組みについて

当金庫は令和2年4月、「経済」「社会」「環境」の分野に関する取組みを通じ、持続可能な社会の実現に向けて活動することを示すものとして、「SDGs宣言」を表明しました。

当金庫は、上記エコ関連商品の他、「とよしん SDGs 応援ローン」等の各種商品やサービスを通じて、様々な課題解決に取り組むお客様の支援を行い、SDGs の目標達成に貢献してまいります。

SDGs達成に向けた取組みをされる方へ

とよしん SDGs応援ローン

社会貢献活動推進に向けたSDGsの17ゴール達成に向けた取組みをされる方を応援するため、「とよしん」がSDGs応援ローン（※）を創設いたしました。SDGs達成に向けた取り組みを推進される方々の事業資金への活用を助けます。社会貢献で貢献してください。

【申込条件】	
①融資対象者	社会貢献活動推進に向けたSDGsの17ゴール達成に向けた取組みをされる方（個人事業主・法人）
②融資の用途	社会貢献活動・社会貢献活動の推進
③融資の金額	融資限度額より100万円未満
④融資の期間	1年以内（返済期間）
⑤融資の利率	年5.0%（固定）
⑥返済の開始	融資実行日より1ヶ月後
⑦返済の返済方法	元金均等返済（返済期間途中返済期間の途中より返済可）
⑧返済の返済先	社会貢献活動の推進 （社会貢献活動の推進）
⑨返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑩返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑪返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑫返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑬返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑭返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑮返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑯返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑰返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑱返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑲返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
⑳返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉑返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉒返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉓返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉔返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉕返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉖返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉗返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉘返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉙返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉚返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉛返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉜返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉝返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉞返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㉟返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊱返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊲返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊳返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊴返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊵返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊶返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊷返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊸返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊹返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊺返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊻返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊼返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊽返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊾返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）
㊿返済の返済先	社会貢献活動の推進（社会貢献活動の推進）

※融資の利率、返済の返済先（返済先）はご自身の状況により異なります。お問い合わせください。

- ## ○「オール電化住宅ローン」「エコガス住宅ローン」の取扱い

オール電化住宅等の省エネ住宅の新築や購入、増改築資金に対して3年間、当金庫所定の利率から、0.20%の引下げをしています。

- ## ○「リフォームプラン・エコ」の取扱い

太陽光発電システムのほか各種給湯器設備などの様々なエコ関連設備の購入・設置にかかる資金に対して、全期間を2.80%の固定金利（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

- ### ○「エコ応援定期預金」の取扱い

省電力、節電に取り組むお客様を応援するため、①前年の同月と比べて、電気使用量が削減された世帯の方もしくは②太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備投資を現金 10 万円以上で行った世帯の方を対象として、スーパー定期 1 年ものの店頭表示金利に 0.15%の上乗せ（1人あたり 100 万円以内）をしています。

※取扱期間：令和6年10月1日（火）～令和7年3月31日（月）

- ## ○「エコ応援ローン」の取扱い

太陽光発電システム等のエコ関連設備資金（借換にはご利用できません）に対して、当初 3 年間は 1.35%、4 年目以降は 1.65%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

※取扱期間：令和6年10月1日（火）～令和7年3月31日（月）

詳しくは当金庫ホームページをご覧ください

<https://www.toyo-shin.co.jp>

【お客さまの脱炭素経営を支援】

GHG 排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」を提供する㈱ゼロボードおよび CO₂ 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」を運営する e-dash(㈱)とビジネスマッチング契約を締結し、お客様の脱炭素経営支援強化に取り組んでいます。

「zeroboard」は、企業活動によって排出された CO₂ を代表する GHG 排出量について、Scope1～3 を算定・可視化できるクラウドサービスであり、専門的な知識を持たずとも、企業自身で GHG 排出量の算定と可視化ができます。

「e-dash」は、請求書をスキャンしてアップロードするだけで CO₂ 排出量を可視化、データ化し具体的な施策の検討や実行をサポート。また、Scope1～3 の排出量すべてを一元管理できます。

【環境保全への取り組み】

○「エコアクション」の実施

環境保全、CO₂ 排出量削減のための地球温暖化対策として、電気、車両燃料（ガソリン）、ガス、コピー使用量削減のため、平成 20 年度より役職員が一丸となって環境改善のため「エコアクション」活動を展開しています。電気使用量については、令和 6 年度は令和 12 年度に向けた新たな業界数値目標を基に、基準年度（平成 21 年度）比 14.4%削減を目標として活動しています。

また、省エネルギー対策として「ネクタイの着用通年自由化」を実施しています。

○電気自動車の導入

本店営業部の営業用車両に「電気自動車（日産：リーフ）」を導入しています。導入した電気自動車は、ガソリンをまったく使用せず電気だけで走行可能（8 時間の充電により約 200 キロ走行）となっており、二酸化炭素を排出しない環境にやさしい自動車となっています。

また、令和 6 年 6 月には「小型電気自動車（トヨタ：コムス）」を 2 台導入し、環境にやさしい自動車への置き換えを進めております。

○紙製の粗品袋、バイオマスプラスチック製カルトンの使用

「紙製の粗品袋」や、植物の澱粉などを主原料とした植物由来の環境に優しい「バイオマスプラスチック製カルトン」を使用し、プラスチック使用量の削減に取り組んでいます。

○530（ごみゼロ）運動の実施

豊橋市が発祥である「530 運動」に、運動開始当初の昭和 50 年より春と秋の年 2 回、全役職員が地域の清掃奉仕活動に参加し、環境美化に取り組んでいます。

○各店舗にて周辺地域の清掃活動を実施

各店舗が地域貢献活動に取り組む一環として、各店舗近隣の公園での清掃活動を行うなど、地域の環境保全に取り組んでいます。

○「朝倉川育水フォーラム活動」への参加

牛川支店をはじめ近隣 4 店舗の職員及びボランティア部の職員が、豊橋市を流れる一級河川「朝倉川」の再生と環境改善に取り組む活動へ参加しています。

【環境配慮型店舗の開設】

平成 22 年 6 月に新城支店、平成 23 年 1 月に田原支店、平成 24 年 1 月に問屋町支店、平成 26 年 6 月に豊川支店、平成 30 年 12 月に大岩支店、令和 4 年 2 月に牛川支店を環境配慮型店舗として新築オープンしました。

環境面への配慮として、太陽光パネル付 LED 外灯の設置や一部照明に LED の採用、断熱性能が高い複層ガラスや省エネ型照明機器（初期照度補正機能付）、雨水利用システム、駐車場には夏場の温度上昇を低減させる浸透性・保水性舗装を採用しています。

【エコキャップ推進運動】

平成 23 年 5 月から、環境改善への取り組みの一環として、ペットボトルのキャップを回収し、再資源化を促進する「エコキャップ推進運動」を開始しました。

回収したキャップを再資源化することで二酸化炭素の発生が抑制でき、また、再資源化により得た収益金は、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチン提供に役立てています。回収ボックスは、全営業店、本部、お客様相談所など計 36 カ所に設置しています。

＜令和 6 年 10 月末現在の実績（累計）＞

回収個数	25,551,985 個
ポリオワクチン	29,712 人分
CO ₂ 削減量	187 トン

【「フードドライブ」の実施】

当地域の食品ロス削減に資するとともに、地域のひとり親世帯や多子世帯、子ども食堂、福祉施設等を支援することを目的として、年に 3 回、それぞれ約 1 カ月の期間を設け、「フードドライブ」を実施しています。

地域の皆さまに持ち寄っていただいた食料品は、フードバンク団体や各市の社会福祉協議会へ寄贈しています。

